

## 主要生命保険会社の令和5年9月期決算の概要

### 1. 損益の状況（単体）

- 保険料等収入は、国内金利の上昇により、一時払円建て保険の販売が増加したことなどから、前年同期に比べ増収。
- 中間純利益（純剰余）は、為替に係るヘッジコストが増加したものの、新型コロナウイルス感染症に係る給付金の支払減少等により基礎利益が増益になったことなどから、前年同期に比べ増益。

（単位：億円）

	令和3年9月期	令和4年9月期	令和5年9月期	前年同期比
保険料等収入	136,208	154,926	163,022	8,096
基礎利益	18,358	14,610	17,451	2,840
キャピタル損益	6,270	1,046	▲1,536	▲2,583
臨時損益	▲7,314	▲5,329	▲3,515	1,813
特別損益	▲2,794	▲300	▲1,061	▲761
中間純利益（純剰余）	10,352	6,795	8,025	1,230

### 2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、一部の社において、内外金利の上昇等により、その他有価証券評価差額金が減少したことなどから、前年度末に比べ36.4%ポイント低下。

（単位：%）

	令和4年3月期	令和5年3月期	令和5年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	994.3	944.8	908.4	▲36.4Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、三井住友海上あいおい生命、かんぽ生命の20社を集計。